

観光中心にビジネス交流 道内の2中国人団体が室蘭視察



▶ ボルタ工房を見学する北海道中国会と北海道中国工商会の会員

北海道中国会と一般社団法人北海道中国工商会の会員6人が3月30日、室蘭市を訪れ、ボルタ工房(輪西町)見学や青山剛市長らの懇談などを通し、アフターコロナを見据えたビジネス交流促進を図った。

同中国会は道内在住の中国人の親睦団体。同工商会は道内に拠点を持つ中国人の経営者でつくる経済団体。室蘭市役所を訪れ、青山市長や清水一道室蘭工業大学教授らと懇談。観光などの分野で交流、協力していくことを確認した。ボルタ工房では、NPO法人テツプロの三木真由美

理事の案内で見学。ボルタの誕生の経緯などの説明を受けた。また、道の駅みたら室蘭(祝津町)も視察した。田義之同中国会代表兼同工商会理事長は「交流を通

して共通点や相手のニーズを理解し、双方の発展につながる「大切」と感想を述べていた。

(池田勇人)